

なむなむ

PRESS vol.3

葬儀 告別式 お別れの会

違いは？



亡くなった方を送り出す儀式として、葬儀、告別式、お別れの会といったものがあります。

では、それぞれどんな意味があるのでしょうか。

葬 儀は、死者をこの世からあの世へと送り出す宗教的な儀式。故人の靈魂のための時間です。仏教での一般的なお葬式の流れて言えば、僧侶が読経を行っている時間がこれにあたります。遺族やごく親しい人が中心になって営まれます。

告 別式は、故人の友人や知り合いが参加する社会的な儀式です。参列者は、遺族に慰めの言葉を寄せ、ひとりひとりが焼香したり献花をするなどして、故人に最後の別れを告げます。

これらの儀式も、忙しい現代社会の影響からか、だんだんと簡略化されているのが現状です。

そのため、葬儀と告別式を同日中に連続して執り行う場合が多く、それらを葬式と呼んでいます。葬式の場合は、参列者の入れ替わりはごく少なく、親族と親しい友人や知人といった故人と深く関係のあった方々が参列することが多いです。

お 別れの会は葬儀の形態のひとつですが、身内のためではなく、血縁を持たない友人・知人のための儀式といえます。一般的な葬儀である、お通夜や告別式(火葬)は近親者で済ませて、そのあとに開催されるのがお別れの会です。「偲ぶ会」など、別の名称で呼ばれる場合もあります。また、昔は規模の大きい立派な葬儀を営むことが、故人の供養になると考えられていましたが、最近は規模よりも内容が重視されるようになってきています。対外的な立派さを重んじる大規模葬より、遺族や親族だけで小規模に行う家族葬を選ぶ方が増えているのも、そうした流れの一環です。宗教的なセレモニーである葬儀・告別式を1日で行う、「一日葬」の形式も選ばれています。



おはぎ
モチモチ
モチモチ



お 彼岸といえば、「ぼたもち」と「おはぎ」。大きいのがぼたもちで、小さいのがおはぎ？こしあんがおはぎで、粒あんがぼたもち？米粒が残っているのがおはぎで、餅になっているのがぼたもち？一体どれが本当なのでしょう。

実は、「ぼた餅」と「おはぎ」は全く同じもの。「ぼた餅」の「ぼた」は「牡丹」のこと。牡丹は、春の花ですね。「はぎ」は「萩」のことで、秋の草花である萩に由来しています。春のお彼岸に食べる場合は、「ぼた餅(牡丹餅)」。秋のお彼岸に食べる場合は、「おはぎ(お萩)」と、使い分けて呼んでいるんです。四季のある日本らしい風流な呼び方ですね。

今 年の十五夜は、9月24日。満ち欠ける月の様子や「作物が月の満ち欠けとともに成長する」ことから、●農作物の収穫●ものごとの結実●祖先とのつながりを連想し、それぞれに感謝し祈るようになったのが十五夜です。部屋の照明を落としたり、余裕があれば照明器具を和紙で囲って、ほのかな明かりの中で月を愛でるのも風流です。

お彼岸 って、何の日？

お 彼岸は、サンスクリット語の『パーラミター(波羅蜜多)』の意識『到彼岸』が語源とされます。彼岸は仏教の世界で言うところの、極楽浄土(あの世)を表すのに対し、私達が住む世界(この世)を此岸(しがん)と言います。

年 に2回、春分・秋分の日を中日に前後3日、計7日間で行われますが、なぜこの日なのかと言うと、春分・秋分の日には昼と夜の長さがほぼ同じで、太陽が真東から昇り真西へ沈む日だからです。この世とあの世が最も近くなる日とされていることから、この日にお墓参りへ行き、故人と話をしたり偲ぶ日になりました。

また、この時期は畑仕事をしている方々には、大切な時期でもあります。春のお彼岸では、これから植えつける作物が無事に育つよう祈り、秋のお彼岸では、無事に収穫時期を迎えたことへの感謝を伝える行事とも言われてきました。



お気軽にご利用ください。お葬式の無料事前相談

●毎日9時～15時開催中!

ご来場の方に記念品を差し上げています。

おかげさまで、たくさんの皆様にご参加いただきました。

花ビューティハーバリウム教室

- 8/12(日)なむ南無プラザ白銀
- 8/26(日)なむ南無プラザ田向

結果のご報告

で開催した、ワンコインスクール「ハーバリウム教室」は、おかげ様をもちまして多くの方々にご参加いただき、ご好評のうちに終了することができました。ありがとうございました。

●次回は9月30日(日)なむ南無プラザ白銀店「終活Cafe」での開催を予定しています。皆様のご参加をお待ちしております。



レッスン風景

ご参加の皆様作品

